

2018年(平成30年)4月20日発行

利用会員186名提供会員39名両方会員15名合計240名

(4月1日現在)

発行:袖ケ浦市役所子育て支援課 / 編集:ファミリーサポートセンター

ファミリーサポートセンターとは、子育ての手助けを頼みたい方と、子育ての手助けができる方が会員となっ て組織をつくり、一時的な子育てを助け合う有償の相互援助活動です。

新年度が始まりました。お子様のご入園・ご入学・ご進級、おめでとうございます!新しい環境にわく わくしたりとまどったりしながら、子どもたちは日々成長していきますね。ファミサポは、子育て中の保 護者の方と、地域の方をつなぐお手伝いをしていきます。今年度もよろしくお願いします。

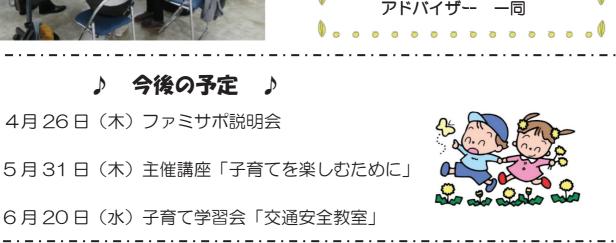


3月16日(金)主催講座『防災講座』





たくさんの方々のご参加、 ありがとうございました。



子育て学習会(フォローアップ研修) 『身体の発達と病気』報告

H30年2月22日(木)10時~12時 長浦公民館 18名参加(会員10名)

H29年度最後の子育て学習会は、市内で子どもからお年寄りまで幅広く診察されている、kenクリニック 院長山本健介先生からお話を伺いました。雨の中18名の方が参加されました。5人のお子さん達はお母さ んの抱っこなどで同席。この日は事前質問に対する先生からの回答を伺ったり、その場でもたくさんの質問 がありました。「子育てで大事なのはお母さんが安定する環境を作ること。経済的にも時間的にも、余裕があ ることが大事」という先生の言葉が心に響きました。

《 Q&A の一部を紹介 》

Q. 赤ちゃん向けの TV やスマホゲームが登場してから、子どもをおとなしくさせるツールとして盛んに使われているが、この弊害について教えて欲しい。

A. 3 歳までに脳が出来上がるので、この時期の遊びは五感(視る、聴く、嗅ぐ、味わう、触れる)を 刺激する物が良い。脳が正常に働きバランスの取れた人間に育つ。身体を動かす外遊びも良い。TV や ゲームは一方通行なので、子どもの能力に対して反応しないため、物事を考える力が育ちづらい。

Q. 発熱時は解熱剤で熱を下げた方がよいのか。自然に任せた方がよいのか。また、高熱時に病院へ行く目 安はどのような状態か?

A. 熱が出るのは病気を治すため。細菌が死んで増殖が抑えられる。放っていても3日で熱は下がる が、4~5日熱が出ている場合は肺炎の心配がある。また、水分がとれていない場合は解熱剤を使う 時もある。すぐに病院にかかった方が良い状態とは、高熱時に意識が混濁した時。ぐったりして目つ きがとろんとしている時。また、けいれんを起こして時間が長かったり、反復して起こす時である。

〈参加者の声〉 ゆたいゆたい ゆたいゆたい ゆたい ゆたい ゆたい やたい やたい やたい やたい やた

 ・お母さんの手助けになる 安心して預けられる相談してもらえるサポートをしたいと思いました。子育て 学習会に参加し、若いお母さん達がずいぶん悩んでいることに気がつきました。
 ・「どんな子どもに育て たいか」を明確に持って育児にのぞむこと。基本的なことだけれど一番大切にしたいことを、改めて考え させられました。
 ・人間には自然治癒力があるという事。薬に頼らず、食生活、運動で丈夫な体を作らなけ ればと思いました。
 ・病気、けがの対応だけでなく、子育てについて大変わかりやすく、事例をまじえて お話しくださり良い研修会でした。

ファミサポ主催講座『家族を守る防災講座』報告

*自分自身と家族の命を守るには、どうしたら

良いか、危機管理課の職員と一緒に学びました。

- 《 講座内容の一部を紹介 》
 - 人間は大きな災害に遭った時にとっさに動くことができないので、避難訓練等に
 参加して、どのような行動をとれば良いのか、身に付くようにしましょう。
 - ・地震対策として、家具の固定は必要です。また、住まいの耐震化をしましょう。
 - 市では非常食を備蓄していますが、家庭でも普段食べ慣れている缶詰やレトルト 食品を備蓄しておくと良いでしょう。飲料水はペットボトルだけでなく、清潔な ポリタンクで溜めておくという方法もあります。



H30年3月16日(金)10時~12



非常食等

- ・災害時の情報は様々な方法で伝達されます。いざという時に市から正確な情報が入手できるように「防 災行政無線テレホンサービス」の電話番号の確認と「生活安全メール」の登録をお願いします。
- ・質疑応答…質問「乳幼児を育児中です。避難時に必要な物・持っていた方が良い物はありますか。」

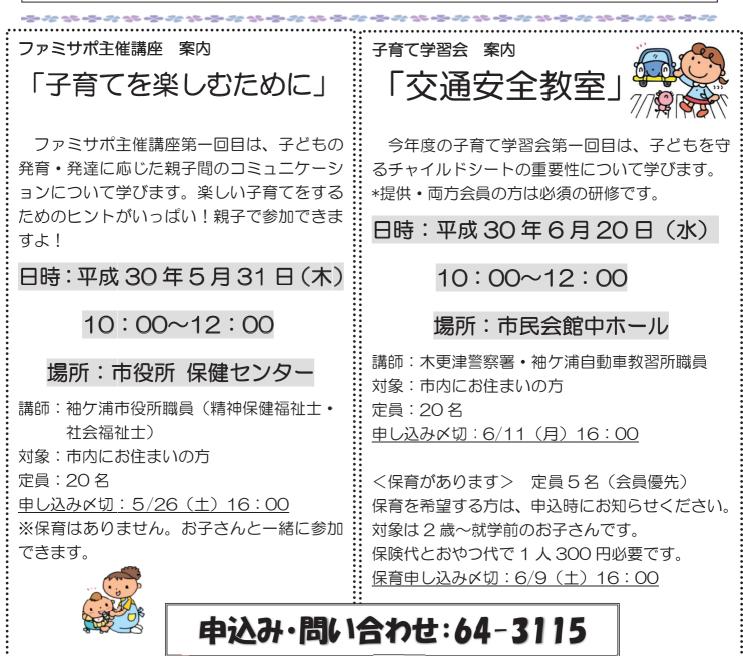
 回答「市でも備蓄はしておりますが、粉ミルクや哺乳瓶を各ご家庭でも用意していただければと思います。加えて、ノンアルコールのウエットティッシュがあると良いと思います。大判の物ならば、おむつ替えだけでなく、身体を拭く等、幅広い用途で利用できます。

提供• 両方会員懇談会 報告



H30年2月7日(水)10時~12時 袖ケ浦市民会館 6名参加(提供会員4名、両方会員2名)

年に1度恒例の懇談会を開催しました。提供・両方会 員さんより活動中の楽しかった出来事や、ケガには至ら なかったが「ひやり」としたことがないか等、援助の様 子を交えながらお話ししていただきました。「子どもが 可愛い」「お母さんからのねぎらいの言葉が嬉しかった」 の声も聞かれ、提供・両方会員さんの「困っているお母 さん達を支えたい!」という熱い思いが伝わって来る場 でした。援助の事で困ったり疑問点はファミサポへ。お 母さんからの相談事や、妊娠・出産・子育てすべての相 談は「子育て世代総合サポートセンター」TEL62-3220 で受付けていますので、ご利用ください。



ファミリーサポートセンターからのお願い

登録内容に変更がありましたら、センターまでご連絡ください。

○引っ越しをしました。○仕事を始めました。○電話番号が変わりました。○市ちゃんが生まれました!(6か月になったら登録できます。)

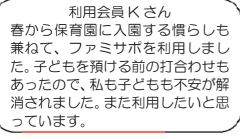
O4 月からお子さんが小学校・幼稚園・保育所(園)に入学・入所(園)、放課後児童クラブに登録など



特に提供会員を募集しています!!

皆さんのまわりに、子どもが好きで援助活動に協力していただける方はいらっしゃいませんか? ぜひ、ファミリーサポートセンターの事を紹介してください!

『ファミサポ会員とは?』 利用会員…市内在住、または在勤で生後6か月〜小学6年生までのお子さんがいる方 提供会員…市内在住の20歳以上で心身ともに健康で、子育ての援助活動ができる方。 両方会員…利用会員と提供会員の両方を兼ねる方。 (提供・両方会員は、基礎研修会を受講後、登録となります。)





提供会員1さん 初めての援助活動で緊張しましたが、 こども館での預かりは、保育士さんや 他のお母さんがいるので、安心して援 助することができました。初めは不安 そうだった男の子と仲良くなれて楽し い時間になりました。

<ファミサポ説明会のご案内> 日時: ①4月26日(木) ②7月11日(水) 10時30分~12時 午後の部 1時30分~3時 午前の部 場所:そでがうらこども館 多目的室 持ち物:市内在住(在勤)が確認できるもの(免許証など) *入会説明は随時行っていますので、興味のある方はお問い合わせください。 ***************** (問い合わせ) 二編集後記二 袖ケ浦市ファミリーサポートセンター アドバイザーに就いてから半年が経ちました。初めてファミ 〒299-0257 袖ケ浦市神納 1136-3 サポ通信を担当し、無事発行することができました。街を歩 (そでがうらこども館内) くと葉桜が目に優しく映ります。成長していくのは、自然も 電話 · FAX 64-3115 子どもも大人も一緒だな~と感慨深いです…。これからも皆 開所時間:午前9時~午後5時 さんと共に歩んでいけたらと思います。 (S.I) (日曜日・祝祭日・年末年始 休所)

☆ファミサポからのお知らせは、広報そでがうら、子育てポータルサイト「はっぴーねっと」にも掲載しています☆